

SHINODA



HIC値  
(頭部損傷係数)  
規制値をクリア

遊び場・遊具回りの安全確保



タイヤ再製品を利用した、衝撃緩衝床材

ソフト  
**Soft クッションマット**

元気な笑顔は、安全な遊び場環境から

遊び場で起こる事故の75%は落下によるものです。『Soft クッションマット』は、落下事故を想定した衝撃吸収性試験 (HIC値で裏面に表示) において規制値をクリア。高い安全性を実証しました。安全が確信できる遊び場の環境づくりに適した、衝撃緩衝性の高い、子どもたちにやさしい専用マットです。



左: グリーン(G)/右: レンガ(R) 素材はリサイクルゴムチップ



Soft クッションマット  
[1000×2000mm]

- S40-04 グリーン(G)/レンガ(R)
- S50-04 グリーン(G)/レンガ(R)

Soft クッションマット  
[1000×1000mm]

- S40-03 グリーン(G)/レンガ(R)
- S50-03 グリーン(G)/レンガ(R)

スロープ  
[200×1000mm]

- SS40-01 グリーン(G)/レンガ(R)
- SS50-01 グリーン(G)/レンガ(R)

コーナーエッジ

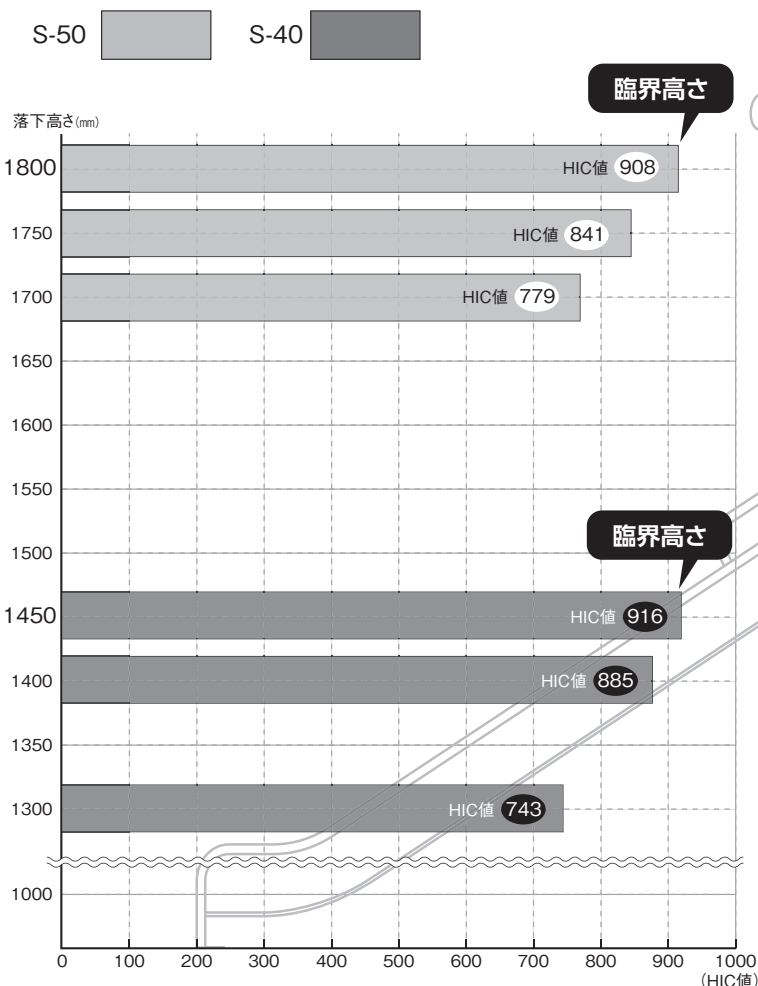
- SC40-01 グリーン(G)/レンガ(R)
- SC50-01 グリーン(G)/レンガ(R)

Soft クッションマット+スロープ  
+コーナーエッジ

縁を段差のないよう、床面につなげる際に使用します。

# 衝撃吸収性試験(HIC値\*)において 遊具に関する規制値をクリア。 高い安全性を実証しました。

## 衝撃吸収性試験(HIC測定値)



安全が確信できる、子供達の遊び場を

### 【HIC値\*】Head Injury Criteria

頭部損傷係数(衝突時に発生した加速度の時間履歴データを算出した値)。HICが1000を越えると通常の人間の生存確率は18%といわれています。この数値が1000以下であれば頭部に重大な影響はないとされています。ちなみに、欧米の遊具に関する安全基準で義務付けられているHIC値(頭部損傷係数)測定値は、1000を越えないこととなっています。

### 【HIC測定試験条件】

人頭模型：JIS T8133:1997における標準型  
落下物重量：5,040g  
衝撃点：後頭部  
前処理温度：常温、4時間以上  
(※他の試験装置等はJIS T8133:1997と同様のものを使用)  
試験室温度：20℃/試験室湿度：73%

## 砂やウッドチップと同等の衝撃緩衝性を持ち、衛生的です。

衝撃吸収材の性能は「臨界高さ」として表わされ、その臨界高さ以下からの落下であれば、脳に深刻なダメージがないものとされています。『Softクッションマット』は、臨界高さが1800mm(S-50)、1450mm(S-40)とHIC値1000以下の規制値をクリアし、落下時の衝撃を柔らげます。

砂、ウッドチップなどを敷き込むのも有効ですが、踏み固められ圧縮された状況下では衝撃吸収性能が劣り、雑菌の繁殖などの衛生上の問題も発生するため、安全性を維持するためには頻繁なメンテナンスが必要となります。『Softクッションマット』は、弾力性に富んだタイヤ再製品を使用しているので、砂、ウッドチップと同等の衝撃緩衝性を有し、かつ、衛生的。遊び場、遊具下などのための安全床材です。

## ■ 製品規格 (ロットによって、特殊寸法および特殊カラーも承ります)

製品名	品番	サイズ(mm)	重量(kg)
Soft クッションマット (G: グリーン/R: レンガ)	S40-01	厚さ40 × 500 × 500	5
	S40-02	厚さ40 × 500×1000	10
	S40-03	厚さ40×1000×1000	20
	S40-04	厚さ40×1000×2000	40
	S50-01	厚さ50 × 500 × 500	6.3
	S50-02	厚さ50 × 500×1000	12.5
	S50-03	厚さ50×1000×1000	25
	S50-04	厚さ50×1000×2000	50
スロープ (G: グリーン/R: レンガ)	SS40-01	厚さ40 × 200×1000	2.7
	SS50-01	厚さ50 × 200×1000	3.3
コーナーエッジ (G: グリーン/R: レンガ)	SC40-01	厚さ40 × 200 × 200	0.4
	SC50-01	厚さ50 × 200 × 200	0.5

 篠田ゴム株式会社  
SHINODA RUBBER CO., LTD

<http://www.shinoda-gomu.co.jp/>

■ 本社 〒131-0043 東京都墨田区立花5-1-19 TEL. 03(5631)3011[代表] FAX. 03(5631)3500  
 ■ 埼玉管理センター 〒343-0851 埼玉県越谷市七左町6-106-1 TEL. 048(966)1858[代表] FAX. 048(966)1748  
 ■ 篠田ゴム工業株式会社 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町2-167 TEL. 048(986)6155[代表] FAX. 048(986)0592  
 ■ 篠田ゴム工業株式会社 第二工場 〒343-0851 埼玉県越谷市七左町8-119 TEL. 048(966)4475[代表] FAX. 048(962)9118  
 ■ 福島篠田ゴム工業株式会社 〒963-5342 福島県白川郡瑞穂町大字伊香高ノ平66 TEL. 0247(43)2176[代表] FAX. 0247(43)2177